

## 日本芸術文化振興会と 国立劇場等施設の活用に係る連携協定の締結 インバウンド向けに日本文化発信の基地として活用

株式会社エイチ・アイ・エス（本社：東京都港区 以下、HIS）と独立行政法人日本芸術文化振興会（所在地：東京都千代田区 以下、日本芸術文化振興会）は、国立劇場等施設の活用に係る連携協定を締結します。



日本芸術文化振興会が運営する国立劇場は、歌舞伎、文楽、舞踊、邦楽、雅楽など日本の伝統芸能の保存と振興の場として 1966 年に開場しました。これまで、伝統芸能をより親しんでいただけるよう様々な公演や、伝統芸能を未来へつなぐため伝承者の育成などを行う中核的拠点として活用されておりましたが、施設老朽化への対応とバリアフリー化のために建て替えが決定し、2023 年 10 月末をもって閉場しています。

HIS と日本芸術文化振興会は連携し、再開場までの期間中、国立劇場等施設を有効活用した事業を実施することで、伝統芸能の保存と振興の拠点として、また、日本の文化芸術の魅力を世界に発信する文化観光の拠点としての役割を發揮することを目指します。

### 【対象となる施設】

国立劇場等（所在地：東京都千代田区隼町 4-1）

### 【連携協力事項】

- 国立劇場等既存の施設を有効活用した事業の実施。
- その他、HIS および日本芸術文化振興会が必要と認めること。

HIS は、民間事業者としてのアイデアを持ち出し、国内観光客はもとより、インバウンドに向けて本格的な日本の伝統文化を魅せる有益なコンテンツ作りを強化してまいります。この活動を通じて、日本の伝統文化を、従来の価値観にプラスして観光資源としても育てていくことで、伝統文化の持続的発展につながるよう努めたいと考えております。



国立劇場は現在再整備に向けた検討を進めているところですが、既存の施設を活用し、日本の文化芸術の魅力を多くの皆様に発信したいと考えております。このために HIS 様と連携できることを大変嬉しく思いますし、相互に協力して新たな事業が開始できることに期待しています。

独立行政法人日本芸術文化振興会 理事長 長谷川眞理子



このたび、57 年の歴史ある国立劇場を活用するプロジェクトに参画できることを大変光栄に思います。再整備計画前の国立劇場を活用し、世界に誇るべき日本の伝統芸能の魅力を国内外に発信するとともに、より親しんでいただけるようなイベントを企画していきたいと考えております。

株式会社エイチ・アイ・エス 代表取締役社長 矢田素史